

「箱の浦まちづくり協議会」の活動報告

箱の浦自治会まちづくり協議会 会長 岡 保正

1.方針・目的

行政に頼らず、箱の浦地域のことは箱の浦の自分たちで解決する。

「いつまでも箱の浦に住み続けたい、箱の浦で育ってよかった」といわれる地域に！

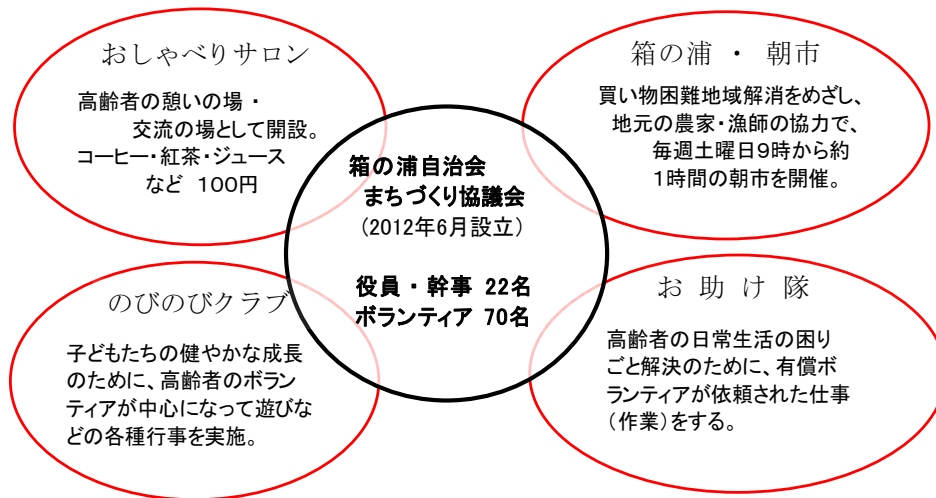
2.活動内容

「まちづくり協議会」の結成

- ・団地の自治会は役員(6名)・班長(30名)は毎年改選交替のため継続した事業が困難。
- ・2012年6月に、自治会役員、民生委員、校区福祉委員と有志で、下記4項目を目的として、「箱の浦自治会まちづくり協議会」を結成し、ただちに活動を開始した。主な事業(活動)は以下の通り。

- ①高齢者支援・相談
- ②子育て家庭支援・相談
- ③地域福祉支援・相談
- ④地域美化・環境整備事業

・2012年6月～2014年1月までの事業の概略は以下の通り。



3.他の活動団体の参考となる事例

「おしゃべりサロン」、「箱の浦・朝市」がそれぞれもたらす効果(発表にて説明します)

4.今後の課題等

後継者対策

「まちづくり協議会」として活動を開始して1年半余ですが、ボランティア活動に参加している大半が65歳以上の高齢者のため、次世代の若い人たちの活動参加が課題です。



すべてに共通しているわたしたちの思い

箱の浦のことは

箱の浦で解決する！

みんなが、住み、くらし、働き、
活躍し続けられるまちに！

わたしたち箱の浦まちづくり協議会は、こんな
当たり前のみんなの願いをみんなで叶えるた
めに立ち上がった団体です。

まずは居場所・・・ サロンの立ち上げ

＜住民センターを使用するも・・・不便＞

- ・「こんな場所を求めてた」と賑わうが、
公共の住民センターは崖の上で高齢者には不便



3

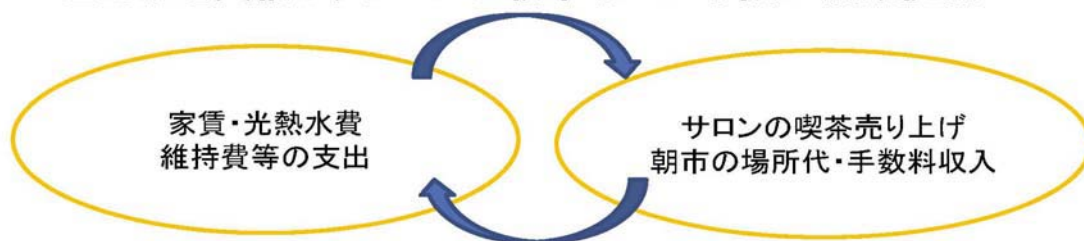
いっぽうで・・・空き家、空き地が地域の課題に

- ・交通困難地で買い物や生活に不便→転出→空き家空き地



逆転の発想！空き家をサロン&活動拠点に

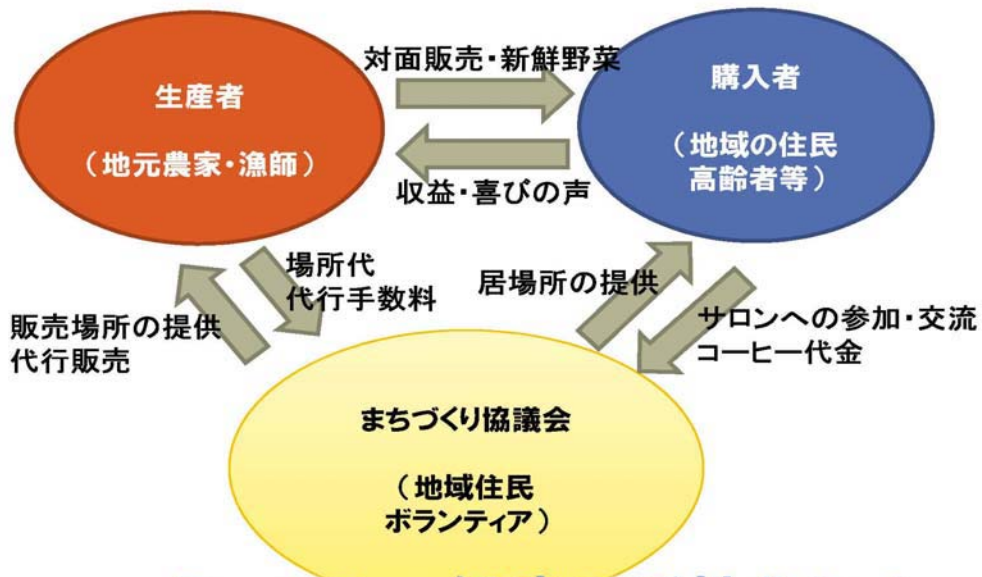
・空き家を賃借し、サロンや朝市などの常設の活動拠点に



「歳をとると買い物に困るわ・・・」
⇒朝市の開催



朝市での人・活動・お金循環サイクル



コミュニティ・経済の活性化に！

のびのびクラブ



「ちょっと困った」の解決へ ⇒お助け隊

- ・網戸の張り替え、空き地の草刈り、電球交換、植木選定など

シニア男性
有償活動
参加の場



安価で依頼
地元のつながり派生
高齢者など



もたらず効果

- ・高齢者の楽しみ、居場所
- ・買い物難民の解決
- ・子どもと親のつながりづくり
- ・地域内での助け合いの体制づくり
- ・地域環境美化（地域課題の解決）

今後の計画

- ・隣の空き地を買い上げ、子どもの拠点、災害時避難場所に
- ・土地購入は協議会幹事、協力者有志の募金により取得

これからの活動(事業)予定

1. らくらく送迎…………… 早朝・夕～夜の時間帯に駅までの送迎。
2. 資源ごみ回収…………… 新聞・アルミ缶を月1回収し、事業資金に。
3. シニア・ランチハウス… 一人住まいの高齢者の食事会。
4. 安心ダイヤル…………… 一人住まいの高齢者の見守り活動。
5. 子どもの居場所と学童保育… 子どもの遊び場と勉強場所づくり、
と地域での「学童保育」
6. 箱の浦アダプト…………… 公園や街路樹の清掃・管理、街並みの
保全・環境整備。



ご視聴ありがとうございます

ございました

箱の浦自治会まちづくり協議会